

らくご

らくごは 400ねん まえに うまれました。

にほんの でんとうげいのうの ひとつ です。

ひとりの ひとが いろいろなひとになります。こえを かえて、おもしろい はなしをします。

せんすと てぬぐいを つかって いろんなことを あらわします。

ときうどん

ある夜、1人の男がうどんの屋台を呼び止めて、うどんを注文しました。この客は「匂がいい」「味がいい」などと言って、うどん屋をたくさんほめました。うどん屋はとてもいい気分になりました。

うどんの値段は16文です。お客はうどんを食べ終わると、お金をひとつずつうどん屋に渡します。

「ひとつ、ふたつ、みっつ、よっつ、いつつ、むっつ、ななつ、やっつ…」そして、お客はうどん屋に時間をたずねました。うどん屋は「このつ」と答えました。お客は「10、11、12…」と続けて、15文しか払いませんでした。

この様子を見ていた男がいました。この男は「自分も同じことをしてみよう!」と思いました。次の日、うどんの屋台を見つけて、うどんを注文しました。でも、うどんは全然おいしくなくて、このお客はうどん屋をほめることはできませんでした。

うどんの値段は16文です。お客はうどんを食べ終わると、お金をひとつずつうどん屋に渡します。「ひとつ、ふたつ、みっつ、よっつ、いつつ、むっつ、ななつ、やっつ…」そして、お客はうどん屋に時間をたずねました。うどん屋は「いつつ」と答えました。お客は「むっつ、ななつ、やっつ…」と続けて、19文払いました。